

2012 年度第一回 GNH 研究所バンコクサロンを行いました。

2011 年 9 月以来、久しぶりにバンコクサロンの集まりを行いました。洪水の悲惨な体験を乗り越えたメンバーが集まり旧交を温めると同時に新メンバーの方とも和やかなムードであつと言う間の 4 時間を過ごしました。

2012 年 1 月 14 日 AM10:00~PM2:00、会場は BTS アソーク駅直結、パーソネルコンサルタンツ社 2 階の会議室をお借りしました。いつも無償でお貸し頂きありがとうございます。



サロンでのワークは 1.アイスブレイク（組み分け：朝起きた順番）、グループ対抗ゼスチャー合戦、から始まって 2.積極的傾聴による自己紹介、休憩を挟んで 3.ワールドカフェを用いたディスカッション、4.今日の振り返り、といった流れで行いました。

グループゼスチャーではチームスヌーピーとチームチャーリーに別れ、久しぶりに子供のような気持ちに成りました。無言でも自然と誰かがリーダーシップを発揮し、誰もがちゃんと役割を果たしているその様は非常に興味深いものでした。

ワールドカフェのワークでは【今回のタイの洪水や日本の震災など大災害を体験したときに垣間見えたそれぞれの社会の良い所】について話し合い、次に【その社会のよい所を今後日本にどのように活かしたらよいのか】のお題で意見交換をしました。そして最後の振り返りでは【GNH 研バンコクサロンでは今後何をしていきたいか】について意見交換を行い、様々な意見が交換されました。

タイ人の災害だろうが何でも楽しもうという姿勢に共感した話や、まず行動を起す姿勢、また行動を起こしやすく、それを非難しない国民性についても多くの意見が出来ました。反面、計画性や責任力という点では日本のよさも垣間見られたと言う意見も多く出ました。

災害をばねにより良い社会を作り上げたいという想いを参加者で共有し、今後の理想的な社会作りを行うには、やはり大人世代が自分なりの生き方の手本を若い世代に見せる必要があるとの意見も出ました。また若者の意見や考え、行動が起こしやすく、またそれを支援できるシステムも必要なのではという意見もありました。

【今回のアウトカムを次のワークに活かし、もっと深めたい】、【ファシリテーションの技術を学びたい】、【タイの学生を交えてワールドカフェを行いたい】、【スタディツアーに行きたい】など多くの意見が出ましたので、今後徐々に参加者が持ち回りでファシリテーション手法を学べるような場にしていきたいと思いました。

休憩時には小田さん特製の東北タイの無農薬玄米のおにぎりで空腹を癒しました。いつもありがとうございます。また平山の近著【GNH（国民総幸福）】の販売も行われ臨時サイン会も行われました。

次回は 2 月 25 日（土曜日）午後に計画しています。次回も多くの学びの場に来ること

を期待しています。とにかく楽しく、満足した土曜日でした。